

【介護ライフアドバイザーとは】

介護・医療の専門家には対応できない、認知症や介護費用の準備など総合的な介護問題の予防と解決支援が「介護ライフアドバイザー」の使命です。

士業や資産運用の専門家が「介護ライフアドバイザー養成講座」で、介護相談に必要な知識を習得し、NPOの実務支援を受けながら、顧客の介護問題の予防と解決を支援します。

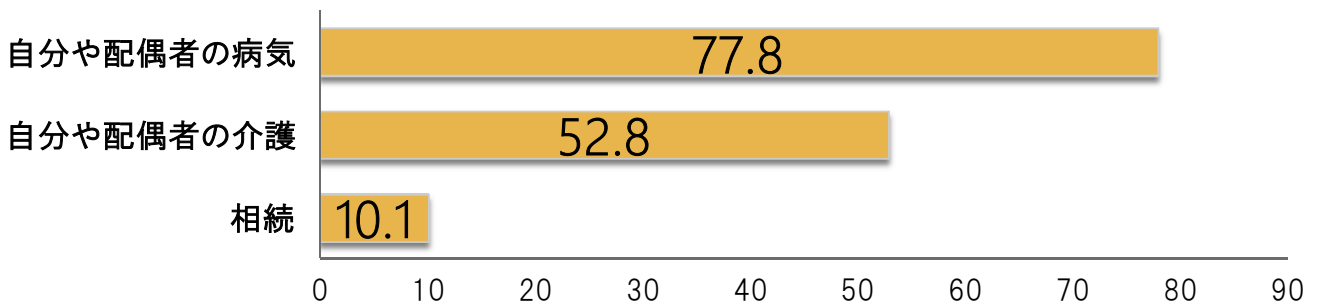
(相談例)

- 認知症へのそなえ・・・ 後見制度・信託制度の活用、資産の組換え
- 介護費用の準備・・・ 介護費用の予想と捻出、使いやすい資産に組換え
- 相続に備える・・・ 遺言作成、資産税対策、介護を考慮した相続
- 介護負担の軽減・・・ 高齢者施設の活用、介護のアウトソーシング化

【介護相談がビジネスに直結】

- 介護相談からビジネスを拡大する
- 相続対策・ファイナンシャルプランを介護から囲い込む

【高齢者が不安に感じること】



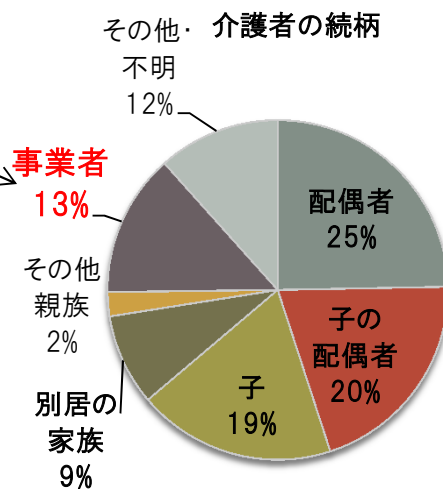
内閣府：平成22年「高齢者の日常生活に関する意識調査」から作成 複数回答可

【家庭の介護実態】

- 限定的な介護保険サービス
事業者の介護比率は13.6%
- 家族に大きな介護負担
同居家族66.1% 別居家族・親族11%

【介護問題の発生】

- ✓ 介護者の病気
- ✓ 高額な介護費用
- ✓ 家族不和の発生
- ✓ 介護離職（介護者の失業）
- ✓ 介護負担が原因の相続争い
(同居家族が66.1% 別居家族9%)



厚生労働省「国民生活基礎調査」2004より作成